

日本スポーツ産業学会第30回大会開催される

第30回大会は、2021年7月10日(土)と11日(日)に、昨年に引き続きオンライン（担当校：九州産業大学）にて行われました。参加申込者は総数106名（内有料参加者数：98名〔正会員：72名、学生会員：11名、法人会員：1名、非会員一般：8名、非会員学生：6名〕となりました。これもひとえに、大会実行委員会の皆様および関係者の方々の多大なるご尽力の賜物と感謝申し上げます。

尚、プログラムの「アイデアコンペ」には21件の応募があり、厳正な審査の結果選ばれた6件の著者が当日プレゼンし、スポーツ庁関係者、学会会長、学会理事長ほかの審査を経て、次のような結果となりました。当日はオンラインではありましたが授与式が行われ、スポーツ庁長官賞状はスポーツ庁のスポーツ総括官 牛尾則文氏、学会会長賞状は尾山 基会長により読み上げられました。その後、受賞者から喜びの挨拶があり、後日賞状が受賞者の元に郵送されました。

○スポーツ庁長官賞

- ・「安心・安全・快適に！「AIロボット」と一緒に盛り上がろう！

～近未来型スマートスタジアム化に向けた観戦ソリューションの提案～

竹下優菜（帝京大学 経済学部経営学科 スポーツ経営コース 川上祐司ゼミナール）

○日本スポーツ産業学会会長賞

- ・「野球場の車いす席エリアのリノベーション」

龍谷大学 スポーツサイエンスコース 松永敬子ゼミ



左から竹下優菜氏、川上祐司先生



前列左より今田温稀氏 赤嶺咲希氏（入澤 崇学長） 所 沙夜氏
村上由季氏 湊 智美氏、後列左より荒木 篤氏 幾田敢大氏
中鹿祐里氏 難波尚貴氏（松永敬子先生）

◇ も く じ ◇

・令和2年度の学会賞について	2
・第30回学会大会プログラム	2
・第64回理事会報告	4
・第31回総会報告	4
・スポーツ産業アカデミー開催報告	16
・事務局より〈シクミネットについて〉	17
・『スポーツ産業学研究』原稿募集	18

令和2年度の学会賞について

令和2年度の学会賞につきましては、『スポーツ産業学研究』第30巻第1号（2020年1月発行）から第4号（2020年10月発行）に掲載された原著論文12編，研究ノート17編，フォーラム3編の合計32編の中から選出されました。

7月10日(土)の総会後にオンラインにて授与式が行われ、尾山 基会長によりそれぞれの賞状が読み上げられました。その後、受賞者から喜びの挨拶があり、後日賞状が受賞者の元に郵送されました。

○学会賞論文……………副賞10万円

- ・「スポーツ施設の整備及び運営に伴う経済効果の検証：スポーツ関連事業への地域付加価値創出分析の適用」

横田匡俊（日本体育大学スポーツマネジメント学部）

稲垣憲治（京都大学）

庄子博人（同志社大学）

岡田真平（公益財団法人身体教育医学研究所）

佐藤照友旭（公益財団法人身体教育医学研究所）

荒井宗武（東御市企画振興部文化・スポーツ振興課） 共著

[原著論文]（第30巻第4号掲載）

○奨励賞論文……………副賞5万円

- ・「スタジアム整備構想におけるステークホルダーの特定と類型化：北九州スタジアムのケース・スタディ」

舟橋弘晃（早稲田大学）

菅 文彦（大阪成蹊大学）

桂田隆行（早稲田大学総合研究機構スポーツビジネス研究所）

間野義之（早稲田大学） 共著

[原著論文]（第30巻第2号掲載）



横田匡俊氏



舟橋弘晃氏

第30回大会プログラム

1. 会 期：2021年7月10日(土)～11日(日)
2. 会 場：九州産業大学（オンライン開催）
実行委員長 西崎信男（九州産業大学 教授）
3. テーマ：「スポーツとファイナンス～地方からの発信～」
4. 日 程
【7月10日(土)】
9：15 一般研究発表（2会場：12題）

- 11：30 理事会
- 13：10 オープニングパフォーマンス
- 13：30 実行委員会企画①
「スペシャルイベントを通じた球団価値の向上：鷹の祭典を中心に」
演者：白川隆志（福岡ソフトバンクホークス 株式会社執行役員 事業統括本部マーケティング部長）
司会：西崎信男（九州産業大学 教授）

福田拓哉（九州産業大学 准教授）

15：10 アイデアコンペ

17：00 総会

18：00 アイデアコンペ スポーツ庁長官賞・会長賞 授与式

『スポーツ産業学研究』学会賞・奨励賞授与式

【7月11日(日)】

9：15 一般研究発表（2会場：13題）

13：00 実行委員会企画②

「トップが語るアビスパ福岡のホームタウン戦略とそれを支える地元企業・行政の取り組み」

シンポジスト：

川森敬史（アビスパ福岡株式会社 代表取締役社長）

川原武浩（株式会社ふくや 代表取締役社長
アビスパ福岡 グローバルアソシエイツ（AGA） 常務理事）

石丸修平（福岡地域戦略推進協議会 事務局長）
コーディネーター：

磯貝浩久（九州産業大学人間科学部 教授）

萩原悟一（九州産業大学人間科学部 准教授）

15：10 閉会式

5. アイデアコンペ ポスター発表

（※印は当日の最終審査発表者）

※・「野球場の車いす席エリアのリノベーション」

龍谷大学 スポーツサイエンスコース

松永敬子ゼミ

・「若い人には球場観戦の魅力伝わってません！」

立命館大学 スポーツ健康科学部 築城拓斗

・「プロ野球と大学を繋ぐサイド・ジョブ-SNSによる実行力・発信力の寛容を通じて-」

東北学院大学 スポーツマネジメント研究室代表 天野和彦

・「地方都市におけるスタジアムのスポーツホスピタリティ普及・促進プロジェクト」

福山大学 経済学部 藤本倫史研究室, (株)ジャパン・スポーツ&ツーリズム・プレミア

※・「誰でもプロ野球選手を目指せる環境づくり- 1億人による野球データ収集プロジェクト」

株式会社ネクストベース

・「独立リーグを活用したNPB球団と独立リーグ球団との相互協力によるWin-Win育成選手モデルの構築～新ドラフト会議構想とフレッシュプレイヤーズナビの活用を通じて～」

帝京大学 経済学部経営学科 スポーツ経営コース 川上祐司ゼミナール 狗飼大和

※・「安心・安全・快適に！「AIロボット」と一緒に盛り上がろう！～近未来型スマートスタジアム化に向けた観戦ソリューションの提案～」

帝京大学 経済学部経営学科 スポーツ経営コース 川上祐司ゼミナール 竹下優菜

・「既存のサービスをアップデート～進化する演出とファンサービス～」

慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科スポーツマネジメント専攻 古池悠夏

・「スタジアム・アリーナ向けモバイルオーダーシステム<売り子ール>」

株式会社ウフル 有川久志

※・「アフターコロナのスポーツ活性化」

静岡産業大学 経営学部 大沼ゼミナール

・「九州への「ライオンズ球団」設置に向けてプロ野球の「球団名のれん分け制」の提案」
電気通信大学 大学院情報理工学研究所
共同サステナビリティ研究専攻 導線設計研究所

・「バーチャルスポーツライブの提案」

九州産業大学 人間科学部 萩原ゼミナール

・「新たな競技性- 健常者と障害者が対等になれる場-」

桜美林大学 健康福祉群 小林ゼミ

・「“女子スポーツ大生”の“女子スポーツ大生”による“女子スポーツ大生”の為のカウンセリング」

中京大学 スポーツ科学部 草薙ゼミ

・「バンテリンドームナゴヤでのプロ野球の観戦概念を変えよう!!」

中京大学 スポーツ科学部 草薙ゼミ

・「地域密着型！ニューノーマル時代に即した新たなオンライン観戦の形」

中京大学 スポーツ科学部 草薙ゼミ

・「ドラゴンズ公式SNS活性化計画」

中京大学 スポーツ科学部 草薙ゼミ
※・「新たなスポーツSDGsと発展途上国のスポーツ発展～使用済みユニフォームや練習道具の再利用～」

中京大学 スポーツ科学部 草薙ゼミ
・「学生が運営する大学スポーツHP～今、私たちがすべきこと、できること、繋ぐこと～」中京大学 スポーツ科学部 草薙ゼミ
・「現場のニーズに沿った競技別データ管理アプリ」

中京大学 スポーツ科学部 草薙ゼミ
※・「プロスポーツ×スマホゲーム」によるスポーツ観戦ユーザーの増員計画」

中京大学 スポーツ科学部 草薙ゼミ

第64回理事会報告

日時：2021年7月10日(土) 11時30分～12時00分

場所：オンライン

出席者（敬称略）：

会長 尾山 基，平田竹男

理事長 井上智治

理事 池田 弘（代理：高橋孝輔），佐野毅彦，高橋義雄，武内紀子，中村 潔（代理：伊地知直亮），中村好男，藤原庸介，松尾哲矢，三木谷浩史（代理：小木曾稔），水野明人（代理：長沼秀一），水野利昭，渡邊一利

監事 栗山貴行，得田進介

オブザーバー：

運営委員 東 俊介，石黒えみ，磯貝浩久，井上俊也，上田滋夢，宇藤智子，児玉ゆう子，澤井和彦，庄子博人，新戸明子，田中弘一，辻 武伺，長井延裕，新井野洋一，藤沢久美，藤田康範，藤本淳也

スポーツ庁 渡辺隆史参事官（民間スポーツ担当）

井上理事長による開会宣言後，尾山会長，渡辺氏より挨拶がなされた。

理事会の成立（出席者13人（含代理出席），委任状提出者5人）が確認され，議事録署名人とし

て藤原理事，水野利昭理事が指名された。

議題1）第63回理事会議事録確認

第63回理事会議事録が確認された。

議題2）2020年度事業報告について

井上理事長の指名により，中村好男理事（運営委員長）から資料-1に基づき2020年度実施事業について説明がなされ，原案通りこれを総会へ上程することが承認された。

議題3）2020年度収支決算報告書について

井上理事長の指名により，佐野理事（運営委員会総務委員長）から資料-2に基づき2020年度収支決算について説明がなされた。続いて得田監事から監査報告がなされ，原案通りこれを総会へ上程することが承認された。

議題4）2021年度事業計画について

前回理事会にて承認された2021年度事業計画を総会へ上程することが確認された。

議題5）2021年度収支予算書について

前回理事会にて承認された2021年度収支予算を総会へ上程することが確認された。

議題6）第31回学会大会（2022年度）の開催について

井上理事長の指名により，高橋理事（運営委員会大会委員長）から帝京大学主管による開催が提案され，審議の結果，原案通りこれを総会へ上程することが承認された。

次回理事会は2022年2月開催予定の冬季学術集会時に会場校にて開催することが確認された。

井上理事長の閉会宣言があり，理事会を終了した。

以上

第31回総会報告

日本スポーツ産業学会第31回総会は，2021年7月10日17時00分より，オンライン開催された。

1. 総会の出席者

第31回総会は、正会員64人（開会時）の出席、32人の委任状により成立した。

2. 議事の運営

総会は、佐野毅彦理事の開会宣言および司会で開会され、尾山基会長の挨拶がなされた。井上智治理事長が議長の任に就いた。議案及び審議概略は以下の通りである。

3. 議題

1) 2020年度事業報告について

議長の指名により、中村好男理事・運営委員長より資料-1に基づき2020年度に実施した事業について説明がなされ、原案通りこれが承認された。

2) 2020年度収支決算書報告書について

議長の指名により、佐野毅彦理事・運営委員会総務委員長より資料-2に基づき2020年度収支決算について説明がなされ、続いて、得田進介監事

より資料に基づき監査結果の説明がなされ、原案通りこれが承認された。

3) 2021年度事業計画について

議長の指名により、中村理事・運営委員長より資料-3に基づき2021年度事業計画案の提案がなされ、原案通りこれが承認された。

4) 2021年度収支予算（案）について

議長の指名により、佐野理事・運営委員会総務委員長より資料-4に基づき2021年度予算案が提案され、原案通りこれが承認された。

5) 第31回学会大会（2022年）の開催について

議長の指名により、高橋義雄理事・運営委員会大会委員長より帝京大学主管での開催が提案され、原案通りこれが承認された。

議長の閉会宣言により、総会は閉会した。

以上

(資料-1)

2020年度事業報告

2020年度の実施事業は以下の通りである。

1. 学会組織の整備・充実・運営に関する事業

(1) 会議の開催

- 第30回総会を開催した（2020年7月11日、於・オンライン）。
- 第62回理事会を開催した（2020年7月11日、於・オンライン）。
- 第63回理事会を開催した（2021年2月13日、於・オンライン）。
- 運営委員会を3回開催した（2020年6月24日、9月17日、2021年1月18日、於・オンライン）。

(2) 事務局機能の整備・充実

- ウェブサイト（<https://spo-sun.gr.jp/>）を活用した情報発信を行った。
- 会員管理システムを導入し、次年度運用開始に向けて準備を行った。

(3) 会員の維持・拡充

- 会員数（2021年3月31日現在）は以下の通りであった。
 - －正会員546人（前年度比17人増）
 - －学生会員86人（前年度比5人減）
 - －法人会員11団体（前年度比2団体増）
（株）梓設計、岩崎電気（株）、NECネッツエスアイ（株）、コトブキシーティング（株）、（株）CSIソリューションズ、（株）ジャパン・スポーツ・マーケティング、大成建設（株）、（株）竹中工務店、（株）東京アスレティッククラブ、ヒューマンアカデミー（株）、ブリッド（株）
 - －賛助会員15団体（前年度比5団体減）
（株）アシックス、（株）井上ビジネスコンサルタント、（株）コングレ、（株）サニーサイドアップ、（株）GKダイナミックス、公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会、セノー（株）、（株）デサント、（株）電通、一般社団法人日本スポーツ用品工業協会、ホクエツ印刷（株）、ミズノ（株）、（株）横浜国際ゴルフ倶楽部、楽天（株）、（株）WOWOW

2. 出版事業

(1)学会誌

- 学会誌『スポーツ産業学研究』を以下の通り発行した。
 - －第30巻第2号（2020年4月1日；原著論文5編，研究ノート4編）
 - －第30巻第3号（2020年7月1日；フォーラム2編，原著論文3編，研究ノート4編）
 - －第30巻第4号（2020年10月1日；フォーラム1編，原著論文2編，研究ノート4編，スポーツ関連大学の入試情報一覧（2020年度））
 - －第31巻第1号（2021年1月1日；原著論文3編，研究ノート6編，Sports Business Japan 2020企画提言コンペ受賞論文3編）
- 学会誌『スポーツ産業学研究』（第30巻第2号～第4号，第31巻第1号）の掲載論文を科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）にて公開した。

(2)学会ニュース

- 『学会ニュース』No.113からNo.116を，それぞれ学会誌第30巻第2号から第31巻第1号と合本して発行し，さらにウェブサイトに掲載した。

(3)情報誌

- 情報誌『Sports Business & Management Review』を以下の通り発行した。
 - －第14号（2020年4月1日）
 - －第15号（2020年7月1日）
 - －第16号（2020年10月1日）
 - －第17号（2021年1月1日）

3. 学会大会の開催

(1)学会大会

- 第29回大会（2020年7月11日～12日，担当・早稲田大学（オンライン））を開催した。
参加人数：177人（うち有料入場者117人〔正会員88人，学生会員13人，非会員一般13人，非会員学生3人〕）
 - －メインテーマ「スポーツ産業のイノベーション」
 - －基調講演
「プロスポーツリーグ経営と今後のスポーツイノベーション研究の方向性」

大河正明（びわこ成蹊スポーツ大学副学長兼 大阪成蹊大学スポーツイノベーション研究所所長）

司会：間野義之（早稲田大学スポーツ科学学術院教授）

- －日本スポーツ産業学会30周年記念イベント座談会

「30年を振り返る～スポーツ産業学の今，そしてこれから～」

尾山 基（日本スポーツ産業学会共同会長，株式会社アシックス代表取締役会長CEO）

平田竹男（日本スポーツ産業学会共同会長，早稲田大学スポーツ科学学術院教授）

北村 薫（日本スポーツ産業学会理事長，順天堂大学名誉教授）

司会：中村好男（日本スポーツ産業学会理事・運営委員長，早稲田大学スポーツ科学学術院教授）

- －一般研究発表：25題（2会場）

(2)冬季学術集会

- 第8回冬季学術集会（2021年2月13日，担当・京都先端科学大学（オンライン））を開催した。

- －参加人数：87人

- －シンポジウム

「地域発！スポーツ産業市場拡大のブレイクスルー」

【紹介事例・登壇者】

《北海道ボールパーク》

小川太郎氏（株式会社北海道日本ハムファイターズ事業統轄本部ファシリティ・リレーションズ部ボールパーク デザイングループ長）

《岩手大学スポーツユニオン》

浅沼道成氏（岩手大学人文社会科学部教授）

《スキーリゾートの海外市場獲得に向けてのマーケティング：HakubaValleyTourism》

山下 怜氏（早稲田大学スポーツ科学学術院助教）

《社会課題解決型ビジネスの創出》

灰田さち氏（株式会社石川ツエーゲン事業企画部次長兼ホームタウン推進室室長）

《スポーツと健康を掛け合わせた新規事業》

植田真司氏（大阪成蹊大学経営学部スポーツ

マネジメント学科教授)

《地域密着型プロスポーツの海外戦略》

北古味 潤氏 (高知ファイティングドッグス
球団株式会社取締役副社長)

【モデレーター】

田島良輝 (大阪経済大学人間学部人間科学科
准教授) ※進行コーディネーター

菅 文彦 (大阪成蹊大学経営学部スポーツマ
ネジメント学科准教授) ※総括

【紹介事例へのコメント】

東原文郎 (京都先端科学大学健康医療学部健
康スポーツ学科准教授)

上林 功 (追手門学院大学社会学部社会学科
准教授)

足立名津美 (京都先端科学大学健康医療学部
健康スポーツ学科講師)

棟田雅也 (金沢学院大学人間健康学部スポ
ーツ健康学科助教)

前田和範 (高知工科大学経済・マネジメント
学群助教)

ーランチタイムセッション

「学生の、学生による、学生のための大学ス
ポーツとは？」

ーリサーチ・カンファレンス2021 (研究発表数:
27題)

①日本スポーツ産業学会賞 (若手研究者育成
セッション:大学院生)

○市川 孝 (早稲田大学大学院スポーツ科学
研究科)

「リツイート数の増加に影響を与えるプロ
野球公式Twitterアカウントのツイート内
容 - 横浜DeNAベイスターズを例にして
-」

○奨励賞

藤原真由美 (大阪経済大学大学院人間共生
研究科)

「北海道日本ハムファイターズファンの
チーム愛着と地域愛着の関連性」

○奨励賞

松原弘明 (電気通信大学大学院情報理工学
研究科)

「合併前の「ブレイブス」「ブルーウェーブ」
「バッファローズ」の「地域」に関する一考察
- Youtube上のコメントを対象として -」

②笹川スポーツ財団賞 (卒論セッション:学部
4回生)

○細谷圭吾 (びわこ成蹊スポーツ大学スポ
ーツ学部スポーツ学科)

「スタジアム雰囲気チームID、再観戦意
図に及ぼす影響の比較検証 - 陸上競技兼用
スタジアムからサッカー専用スタジアムへ
のリニューアルに着目して -」

○奨励賞

西岳真孝 (大阪経済大学人間科学部人間科
学学科)

「プロ野球のFA移籍選手の成否に関する研
究 - 印象論ではない得点貢献指標 (OPS,
XR) を用いたデータ分析 -」

○奨励賞

東矢宅史 (東海大学体育学部スポーツ・レ
ジャーナリズム学科)

「大学スポーツのカラーブランディング -
東海大学を事例として -」

③日本スポーツボランティアネットワーク賞
(卒論セッション:学部4回生)

○木暮誉貴 (帝京大学経済学部経済学科)

「中学野球における軟式野球部と硬式クラ
ブについての一考察 - 子どもの野球離れ
の中で進む「二極化」の要因とは -」

○奨励賞

安部洋一郎, 田中啓之, 富田悠介, 八畑汰
介 (びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部
スポーツ学科)

「関西圏に拠点を置くJリーグチームの新
スタジアム変更後における課題と提案 - 知
覚経験、サービス満足、ロイヤルティ、再観
戦意図に着目して -」

4. セミナー等の開催

(1) スポーツICT研究会

・スポーツICT研究会をオンラインにて2回開催
した。

テーマ「これからのスポーツ産業のあり方と
ICTの役割」

- 「北谷賢司×間野義之~これからのスポーツ
観戦環境を占う~」

・これからの時代に求められるスタジアム&
アリーナ

・スポーツ観戦とエンターテインメントのDX
開催日：2020年7月20日
登壇者：
北谷賢司（米AEGアジア担当EVP兼日本代表、金沢工業大学虎ノ門大学院、ワシントン州立大学教授）
間野義之（早稲田大学教授）

司会：
中村好男（早稲田大学教授、日本スポーツ産業学会運営委員長）

参加者数：329人/参加申込者数：417人

- 「スタジアムアリーナ（スポーツ観戦環境）のDX」

- ・スポーツ観戦環境の新たな視点
- ・スポーツ観戦の再創造

開催日：2020年7月22日

登壇者：
上林 功（追手門学院大学准教授）
木下真吾（NTTサービスエボリューション研究所首席研究員プロジェクトマネージャ・研究部長）

木谷 靖（株式会社NTTふらら経営企画部部長 兼 広報室長）

西條芳克（日本電気株式会社トレード・サービス業ソリューション事業部）

河本敏夫（株式会社NTTデータ経営研究所ビジネストランスフォーメーションユニットアソシエイトパートナー）

司会：
中村好男（早稲田大学教授、日本スポーツ産業学会運営委員長）

参加者数：246人/参加申込者数：397人

(2)スポーツ産業アカデミー

- ・スポーツ産業アカデミーをオンラインにて6回開催した。

- 「eスポーツを通じたNTTの挑戦～eスポーツ施設eXeFieldAkibaの背景と戦略」

開催日：2020年10月13日

登壇者：
梁瀬和人（株式会社NTT e-Sports・顧問）
木谷 靖（株式会社NTTふらら・経営企画部長）他

参加者数：47人/参加申込者数：68人

- 「eスポーツが起こす変革～サードウェーブが提唱したeスポーツエコシステムの意義～」

開催日：2020年11月10日

登壇者：榎本一郎（株式会社サードウェーブ取締役副社長）

参加者数：62人/参加申込者数：68人

- 「eスポーツはゲーム？スポーツ？ビジネス？～セガのeスポーツ戦略にみる可能性を考える～」

開催日：2020年12月8日

登壇者：正廣康伸（株式会社セガ eスポーツ推進室）

参加者数：56人/参加申込者数：70人

- 「産学官連携によるeスポーツによる地域振興モデル～eスポーツだから出来る地域振興、eスポーツの可能性～」

開催日：2021年1月12日

登壇者：加藤貴弘（徳島県 地方創生局 副課長）

参加者数：66人/参加申込者数：86人

- 「簡便なスポーツ映像配信プラットフォームの提案～誰もがスポーツYou Tuberになれる！～」

開催日：2021年2月9日

登壇者：中村正敏（株式会社NTTSportict 代表取締役社長）

参加者数：41人/参加申込者数：63人

- 「eスポーツ教育の未来～eスポーツ産業の発展の基盤～」

開催日：2021年3月9日

登壇者：橋本太郎（ブロードメディア株式会社代表取締役社長／ルネサンス高校グループ代表）

参加者数：43人/参加申込者数：62人

(3)スポーツビジネスジャパン

- ・スポーツビジネスジャパン2020（2020年10月6日～30日、於・オンライン）を日本スポーツ産業学会30周年記念事業として開催した。

(4)企画提言コンペティション

- 例年学会大会時に行っていたアイデアコンペティションをスポーツビジネスジャパン2020(2020年10月6日～30日、於・オンライン)の初日にオンラインで開催した。

○スポーツ庁長官賞

「ドライブシアター新設によるプロスポーツの活性化」

中京大学草薙健太ゼミ:小塚天真, 清水亮佑, 深谷駿希, 長谷川葉月

○日本スポーツ産業学会会長賞

「スポーツへのESG投資促進:大学のスポーツ資源を例に考える」

萩原悟一(九州産業大学)

「ポスト東京オリンピック・パラリンピック競技大会と感染症禍におけるスポーツ振興:地域戦略モデル」

久保雄一郎(神戸大学)

(5)Sport Policy for Japan

- Sport Policy for Japan 2020(2020年11月21日～22日、於・オンライン)を開催した。

-参加:20大学, 54チーム

-受賞結果

○最優秀賞:1件

「スポーツつながリズム」が描く未来図~大学アスリートと農家の共生~」

四国大学 大野ゼミ

○優秀賞:7件

「スポーツを通じた地方創生-鹿島市を元気にする「鹿の子プロジェクト」-」

順天堂大学 工藤ゼミBチーム

「防災強化に向けた「BSL(Bousai Sport Leadership)アカデミー」の提案~防災×スポーツ×リーダーシップ~」

立教大学 松尾ゼミAチーム

「男性の育児休業に向けた「子育てパパ応援プロジェクト」の提案」

立教大学 松尾ゼミBチーム

「移住促進におけるJリーグ活用法の研究-Jクラブ公認地域ウェルカムカフェの設立-」

明治大学 澤井ゼミAチーム

「子どもの健康促進のためのオンライン子ども食堂~コロナ禍で見えた新たな『居場所』

づくり~」

一橋大学 岡本ゼミIチーム

「規格外野菜≠食品ロス!~必要とされるプロスポーツチームの認知度と発信力~」

順天堂大学 工藤ゼミAチーム

「障がい者スポーツ×教育で築くダイバーシティ社会の実現」

順天堂大学 工藤ゼミCチーム

○(株)協栄 特別賞:1件

「防災強化に向けた「BSL(Bousai Sport Leadership)アカデミー」の提案~防災×スポーツ×リーダーシップ~」

立教大学 松尾ゼミAチーム

○PwCコンサルティング 特別賞:1件

「規格外野菜≠食品ロス!~必要とされるプロスポーツチームの認知度と発信力~」

順天堂大学 工藤ゼミAチーム

○笹川スポーツ財団 特別賞:1件

「移住促進におけるJリーグ活用法の研究-Jクラブ公認地域ウェルカムカフェの設立-」

明治大学 澤井ゼミAチーム

○UNIVAS 特別賞:1件

「運動部における新型コロナウイルス感染症の影響について」

東北学院大学 東北学院大学天野ゼミ

○特別賞:6件

「中学生のスポーツ実施率を向上するために~苦手な生徒に焦点を当てて~」

東海大学 萩ゼミ

「東京2020を通じた循環型社会への貢献-アップサイクルによる無形のレガシー創出に向けて-」

東海大学 大津ゼミ

「コロナ禍におけるスポーツ実施率向上プロジェクト~地域の魅力を活かした「スポーツマイクロツーリズム」の提案~」

亜細亜大学 石黒ゼミBチーム

「虹プロジェクト-「彩虹(ツァイホン)ボール」ですべての人をHAPPYに!-」

明治大学 後藤ゼミCチーム

「健康に特化したワンストップ型交流拠点から地域コミュニティを救う-多摩ニュータウンをケースステディとして」

神奈川大学 大竹ゼミナール チームC

「eスポーツの社会的意義と障がい者雇用」
明治大学 澤井ゼミBチーム

(6)専門分科会

- スポーツ産業史専門分科会に補助した。

5. 表彰事業

- 第30回総会（2020年7月11日：オンライン開催）にて学会賞受賞者の発表を行った。
 - 学会賞（副賞10万円）
「GNSSを利用したスポーツデータ分析フレームワークの設計」
中島 円（慶應義塾大学），太田千尋，神武直彦〔原著論文〕（第29巻第2号掲載）
 - 奨励賞（副賞各5万円）
「サッカー競技者の複数対象追跡スキルレベルによる視覚探索方略の違い」
古門良亮（九州工業大学），磯貝浩久（九州産業大学）〔原著論文〕（第29巻第2号掲載）
「大学トップクラスのテニス選手がチームでの活動を通じて獲得したライフスキル：対人スキルに着目して」
野沢絵梨（慶應義塾大学），大谷俊郎〔原著論文〕（第29巻第4号掲載）
- 第31回総会で授与が予定されている学会賞の候補論文を選考した。

6. その他

- 「感染症対策下における国民のスポーツ観戦需要に関する研究」を早稲田大学スポーツビジネス研究所（RISB），同志社大学スポーツマネジメント研究センターとの共同研究として実施した。

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国18歳以上の男女モニター 2,500人（許容誤差：約2%，信頼レベル：95%）

調査期間：以下の開始日から必要サンプル数が確保されるまで（RISB，同志社大学，JSSIによる共同研究は第10時点以降）

第1時点：5月15日	第2時点：5月22日
第3時点：5月29日	第4時点：6月12日
第5時点：6月26日	第6時点：7月10日
第7時点：7月27日	第8時点：8月7日
第9時点：8月21日	第10時点：9月4日
第11時点：9月18日	第12時点：10月2日
第13時点：10月16日	第14時点：11月13日
第15時点：12月11日	

- 学会のあり方を検討した。

(資料-2)

2020年度収支決算報告書

(2021年3月31日現在)

(収入の部)

(単位：円)

科 目	予 算 額	実 績	実績-予算
1. 入会金収入	90,000	78,000	△12,000
a. 入会金収入	90,000	78,000	△12,000
2. 会費収入	7,771,000	6,943,000	△828,000
a. 正会員会費収入	3,409,000	3,705,000	296,000
b. 学生会員会費収入	162,000	138,000	△24,000
c. 法人会員会費収入	800,000	450,000	△350,000
d. 賛助会員会費収入	3,400,000	2,650,000	△750,000
3. 寄付金・補助金収入	0	50,000	50,000
a. 寄付金・補助金収入	0	50,000	50,000
4. 販売品収入	1,600,000	2,195,500	595,500
a. 掲載料・論文抜き刷り代金	1,300,000	2,060,500	760,500
b. 図書等販売収入	300,000	135,000	△165,000
5. 学会大会収入	1,675,000	1,943,000	268,000
a. 参加費収入	905,000	593,000	△312,000
b. 協賛金収入	300,000	1,350,000	1,050,000
c. 懇親会費収入	320,000	0	△320,000
d. その他	150,000	0	△150,000
6. 冬季学術集会収入	130,000	60,000	△70,000
a. 参加費	0	0	0
b. リサーチ・カンファレンス協賛金収入	130,000	60,000	△70,000
7. 事業収入	5,480,000	1,122,890	△4,357,110
a. セミナー事業収入	1,500,000	90,000	△1,410,000
b. Sport Policy for Japan事業収入	980,000	1,032,890	52,890
c. 学会創立30周年記念イベント収入	3,000,000	0	△3,000,000
d. その他	0	0	0
8. 雑収入	100	125	25
a. 預金利息	100	124	24
b. 雑収入	0	1	1
収 入 合 計	16,746,100	12,392,515	△4,353,585

注1

(支出の部)

(単位:円)

科 目		予 算 額	実 績	実績-予算
1. 学会組織の整備拡充費		1,130,000	701,580	△428,420
a.	理事会会議費	80,000	0	△80,000
b.	運営委員会会議費	100,000	0	△100,000
c.	ウェブサイト管理費	400,000	701,580	301,580
d.	広報活動費	50,000	0	△50,000
e.	ウェブシステム更新費	500,000	0	△500,000
2. 出版事業費		5,850,000	6,020,364	170,364
a.	学会誌印刷・製本費	3,200,000	3,708,530	508,530
b.	学会誌編集費	400,000	306,150	△93,850
c.	情報誌製作費	1,800,000	1,562,914	△237,086
d.	発送費	450,000	442,770	△7,230
3. 学会大会開催費		1,675,000	402,311	△1,272,689
a.	会場費	50,000	0	△50,000
b.	懇親会費	545,000	0	△545,000
c.	印刷費	250,000	213,469	△36,531
d.	講師関係費	200,000	50,220	△149,780
e.	外国人講師関係費	0	0	0
f.	実行委員会関係費	0	0	0
g.	事務局費	600,000	138,622	△461,378
h.	予備費	30,000	0	△30,000
4. 冬季学術集会開催費		580,000	90,880	△489,120
a.	会場費	200,000	0	△200,000
b.	昼食会費	50,000	0	△50,000
c.	印刷費	100,000	0	△100,000
d.	事務局経費	100,000	0	△100,000
e.	事業費	130,000	90,880	△39,120
5. 事業費		4,837,000	1,155,373	△3,681,627
a.	セミナー事業費	600,000	241,970	△358,030
b.	カンファレンス事業費	50,000	0	△50,000
c.	専門分科会事業費	20,000	20,000	0
d.	Sport Policy for Japan事業費	1,167,000	892,688	△274,312
e.	学会創立30周年記念イベント事業費	3,000,000	0	△3,000,000
f.	その他事業費	0	715	715
6. 国際交流事業費		0	0	0
a.	海外研究者招聘費	0	0	0
7. 表彰事業費		230,000	216,320	△13,680
a.	学会賞表彰事業費	230,000	216,320	△13,680
8. 事務局費(管理費)		4,130,000	3,552,368	△577,632
a.	交通費	600,000	43,756	△556,244
b.	消耗品費	200,000	128,375	△71,625
c.	通信費	300,000	266,531	△33,469
d.	人件費	3,000,000	3,065,080	65,080
e.	雑費	30,000	48,626	18,626
9. 予備費		0	2,013,758	2,013,758
a.	予備費	0	0	0
b.	特別プロジェクト研究費	0	2,013,758	2,013,758
支 出 合 計		18,432,000	14,152,954	△4,279,046
収 支 差 額		△1,685,900	△1,760,439	△74,539
前 期 繰 越 金		19,885,439	19,885,439	0
次 期 繰 越 金		18,199,539	18,125,000	△74,539

注1) 2020年度限定での追加計上

注2) 当期2月に行われた冬季学術集会のリサーチ・カンファレンスの審査料(77,776円)と大会号作成費(54,670円), 計132,446円が未払いのため未計上になっている。

(資料-3)

2021年度事業計画

1. 学会組織の整備・充実・運営

(1)会議の開催

- 総会（第31回）
- 理事会（第64回・第65回）
- 運営委員会（2～3回の予定）

(2)学会の広報

- ウェブサイト（www.spo-sun.gr.jp）の活用・充実
- 展示会等への出展
- その他の広報活動

(3)事務機能の強化

- ウェブシステムの更新

〔参考〕正会員546人，学生会員86人，法人会員11団体，賛助会員15団体

(2021年3月末現在)

2. 機関誌，会報等の発行

(1)学会誌の発行

- 『スポーツ産業学研究』（第31巻第2～第4号，第32巻第1号）
- 『スポーツ産業学研究』掲載論文を「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）にて公開（第31巻第2～第4号，第32巻第1号）

(2)情報誌の発行

- 『Sports Business & Management Review』（No.18～No.21）

3. 学会大会の開催

(1)学会大会

- 第30回学会大会（2021年7月10日(土)～11日(日)）
担当：九州産業大学（オンライン）

(2)冬季学術集会

- 第9回冬季学術集会（2022年2月予定）

4. 研究会，講演会，公開講座等の開催

(1)スポーツ産業学セミナーの開催

(2)スポーツICT研究会の開催

(3)スポーツビジネスジャパンの開催

(4)Sport Policy for Japan（SPJ）の開催

(5)専門分科会への補助

(6)その他事業

5. 表彰事業

- 学会賞の表彰
- 学会賞候補論文の選考

6. その他

- 共同研究「感染症対策下における国民のスポーツ観戦需要に関する研究」の実施
- 産学連携事業の推進
- 他団体主催イベントへの後援・協力

(資料-4)

2021年度収支予算書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(収入の部)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 額
1. 入会金収入	90,000	90,000	0
a. 入会金収入	90,000	90,000	0
2. 会費収入	6,721,000	7,771,000	△1,050,000
a. 正会員会費収入	3,409,000	3,409,000	0
b. 学生会員会費収入	162,000	162,000	0
c. 法人会員会費収入	550,000	800,000	△250,000
d. 賛助会員会費収入	2,600,000	3,400,000	△800,000
3. 寄付金・補助金収入	0	0	0
a. 寄付金・補助金収入	0	0	0
4. 販売品収入	1,600,000	1,600,000	0
a. 掲載料・論文抜き刷り代金	1,300,000	1,300,000	0
b. 図書等販売収入	300,000	300,000	0
5. 学会大会収入	1,675,000	1,675,000	0
a. 参加費収入	905,000	905,000	0
b. 協賛金収入	300,000	300,000	0
c. 懇親会費収入	320,000	320,000	0
d. その他	150,000	150,000	0
6. 冬季学術集会収入	130,000	130,000	0
a. 参加費	0	0	0
d. リサーチ・カンファレンス協賛金収入	130,000	130,000	0
7. 事業収入	1,080,000	2,480,000	△1,400,000
a. セミナー事業収入	100,000	1,500,000	△1,400,000
b. Sport Policy for Japan事業収入	980,000	980,000	0
c. その他	0	0	0
8. 雑収入	100	100	0
a. 預金利息	100	100	0
b. 雑収入	0	0	0
収 入 合 計	11,296,100	13,746,100	△2,450,000

(支出の部)

(単位:円)

科 目		予 算 額	前年度予算額	差 額
1. 学会組織の整備拡充費		1,130,000	1,130,000	0
a.	理事会会議費	80,000	80,000	0
b.	運営委員会会議費	100,000	100,000	0
c.	システム関連費	950,000	400,000	550,000
d.	広報活動費	0	50,000	△50,000
e.	ウェブシステム更新費	0	500,000	△500,000
2. 出版事業費		5,850,000	5,850,000	0
a.	学会誌印刷・製本費	3,200,000	3,200,000	0
b.	学会誌編集費	400,000	400,000	0
c.	情報誌製作費	1,800,000	1,800,000	0
d.	発送費	450,000	450,000	0
3. 学会大会開催費		1,675,000	1,675,000	0
a.	会場費	150,000	50,000	100,000
b.	懇親会費	545,000	545,000	0
c.	印刷費	250,000	250,000	0
d.	講師関係費	200,000	200,000	0
e.	外国人講師関係費	0	0	0
f.	実行委員会関係費	0	0	0
g.	事務局費	500,000	600,000	△100,000
h.	予備費	30,000	30,000	0
4. 冬季学術集会開催費		580,000	580,000	0
a.	会場費	200,000	200,000	0
b.	昼食会費	50,000	50,000	0
c.	印刷費	100,000	100,000	0
d.	事務局経費	100,000	100,000	0
e.	事業費	130,000	130,000	0
5. 事業費		1,155,721	1,837,000	△681,279
a.	セミナー事業費	50,000	600,000	△550,000
b.	カンファレンス事業費	50,000	50,000	0
c.	専門分科会事業費	20,000	20,000	0
d.	Sport Policy for Japan事業費	1,035,721	1,167,000	△131,279
e.	その他事業費	0	0	0
6. 国際交流事業費		0	0	0
a.	海外研究者招聘費	0	0	0
7. 表彰事業費		230,000	230,000	0
a.	学会賞表彰事業費	230,000	230,000	0
8. 事務局費(管理費)		3,830,000	4,130,000	△300,000
a.	交通費	300,000	600,000	△300,000
b.	消耗品費	200,000	200,000	0
c.	通信費	300,000	300,000	0
d.	人件費	3,000,000	3,000,000	0
e.	雑費	30,000	30,000	0
9. 予備費		3,000,000	0	3,000,000
a.	予備費	0	0	0
b.	特別プロジェクト研究費	3,000,000	0	3,000,000
支 出 合 計		17,450,721	15,432,000	2,018,721
収 支 差 額		△6,154,621	△1,685,900	△4,468,721
前 期 繰 越 金		18,125,000	19,885,439	
次 期 繰 越 金		11,970,379	18,199,539	

注 1

注 2

注 1) 「ウェブサイト管理費」から費目変更

注 2) 「感染症対策下における国民のスポーツ観戦需要に関する研究」の調査費用

スポーツ産業アカデミー開催報告

- ※日 時：2021年7月13日(火)18：00～19：30
- テ ー マ：「北米発：eスポーツを活用した教育活動と国際化人材の育成」
「eスポーツ」を通して高校生の成長に寄与し社会で活躍する人材育成
- 登 壇 者：松原 昭博 (NASEF JAPAN 会長)
- 会 場：Zoomウェビナー
- 参加者数：36人/参加申込者数：37人

- ※日 時：2021年9月14日(火)18：00～19：30
- テ ー マ：「コロナ禍における社内交流の新スタイル～eスポーツの新トレンド～」
運動会よりeスポーツ！～社内交流コロナで新様式～
- 登 壇 者：関 和平 (ネットワンシステムズ株式会社 社員会代表)
- 会 場：Zoomウェビナー
- 参加者数：34人/参加申込者数：63人

事務局より

〈シクミネットについて〉

2021年4月より導入いたしましたシクミネットですが、会員の皆様の更なる利便性を図るため、支払い方法の選択肢に「コンビニエンスストア」及び「Pay-easy」を追加いたしました。既に支払い方法を登録済みの方も変更可能ですので、ご都合の良いお支払方法をご選択ください。

【操作方法】

- 1) マイページの右上にある人型を選択し、「決済方法の確認・変更」を選択
- 2) 「お支払方法の選択」画面が表示され、以下の選択肢が表示されます。
 - クレジットカード（継続決済）
 - 口座振替（継続決済）
 - コンビニエンスストア
 - Pay-easy
- 3) ご都合の良いお支払方法をご選択ください。

- 決済方法はいつでも変更可能です。但し、マイページ「ご請求・お支払い情報」で「決済中」となっているご請求がある場合は、このご請求の決済完了後から、変更可能となります。
- 本学会の銀行またはゆうちょ口座へ直接お振込みをご希望の方は、これまで通り、事務局へご一報ください。

まだログインお手続きがお済でない会員の皆様は、なるべく早めのお手続きをお願いいたします。その他ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

- システムに関して：シクミネット info-jssi10023@shukuminet.com
- その他：日本スポーツ産業学会事務局 jssi@spo-sun.gr.jp
(リモートワーク中によりメールでお願いします)

〈新会員紹介のお願い〉

日本スポーツ産業学会の会員数は、現在、個人会員が約600名、賛助会員が15団体、法人会員が11団体です。本学会は、設立理念にもありますように、産業界、学界、官界と幅広い分野から会員を募り学会活動を進めています。学会の趣旨に賛同し、ともに研究を進める仲間を募っています。下記事務局にご紹介頂ければ幸いです。

日本スポーツ産業学会事務局

〒202-0021 東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
TEL/FAX：042-461-1241
E-mail：jssi@spo-sun.gr.jp
<https://spo-sun.gr.jp>

「スポーツ産業学研究」原稿募集

「スポーツ産業学研究」の原稿を募集します。奮って寄稿されるようご案内致します。

1. 原稿の種類 フォーラム，原著論文（総合研究，理論研究，事例研究，調査研究），研究ノート，書評，アゴラなど。
2. 原稿の採否 編集委員会により投稿分類の妥当性および査読の可否を判定した後に査読委員が選ばれ査読が依頼される。その査読結果をもとに編集委員会は原稿の採否を決定し，その結果を投稿者に通知する。
3. 提出する原稿 メールへの添付ファイル（ワードかPDF，図表はエクセル可）で送付のこと。
4. 論文の送付先 〒202-0021 東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
日本スポーツ産業学会編集委員会
5. 執筆方法 「スポーツ産業学研究」投稿規定（学会ホームページ）を参照。

日本スポーツ産業学会 「学会ニュースNo.119」

発行日：2021年10月1日

発行者：日本スポーツ産業学会理事長 井上 智治

編集者：児玉ゆう子，中村 好男，磯貝 浩久，元 晶煜
岡 浩一郎，梶川 裕矢，越川 茂樹，藤田 康範
藤本 淳也，金子佐知子（事務局）

事務局：〒202-0021

東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
日本スポーツ産業学会事務局

TEL：042-461-1241

E-mail：jssi@spo-sun.gr.jp

<https://spo-sun.gr.jp>